

(1) 読み聞かせ

縦割り班を活用した読み聞かせ交流会

新宿区立落合第三小学校 編



実践事例	
1	<b>実践した教科・領域等</b> : 行事3
2	<b>対象学年</b> : 併設幼稚園5歳児+全学年
3	<b>活用した書籍情報</b> : 園児の発達に合った絵本等
4	<b>読書活動の実践の概要</b> : 全3時間+給食指導 1. ねらい ・感動体験を共有することにより、読み手と聞き手のふれあいを深め、豊かな感性を育てる。 ・幼小連携を含めた異学年交流を活用して、上学年が下学年の立場になって本を選んだり読み聞かせをすることで、豊かな人間性を培う。 2. 活動の流れ (1) 事前の活動 ①縦割り班で打ち合わせを行い、読み聞かせをするペアを決める。4～6年生が、幼(5歳児)、1～3年生を相手に読み聞かせを行う。 ②ペアごとに自己紹介をしてから、読み聞かせをする本や読み聞かせをする場所(教室、校庭、体育館、屋上等)を決める。 ③上学年は図書の日や休み時間を利用して、読み聞かせる本を選ぶ。 (2) 当日の活動 ①縦割り班で集合し、人数の確認をする。 ②上学年が下学年にゆっくり合わせて、読み聞かせをする。(2冊以上) ③ペアでお弁当給食を一緒に食べて交流を深める。 ④感想等を読み聞かせカードに記入する。、各教室で感想を出し合い、感動体験を共有する。 
5	<b>活動のポイント</b> ①毎月の縦割り班活動を充実させて、上学年と下学年の児童を顔見知りの間柄にしておくこと。 ②読書感想文等の取組を活用して、広い視点で読み聞かせる本の選定ができるようにする。
6	<b>留意点</b> ①上学年の担任は、下学年の児童を楽しませるための本の選定や練習を見守り、支援する。 ②保護者にも参観を呼びかけ、我が子の穏やかな表情や微笑ましい姿を見せて、家庭で褒めてもらう。
7	<b>連携した諸機関</b> 新宿区立子ども図書館 新宿区立西落合図書館 本の集団貸出や大人による読み聞かせで読み手になっていただいた。

